

2014.10.25

# こんにちわ～ると

No.51

半田国際交流協会だより

## 7月6日 七夕交流会を開催しました

在住外国人との交流イベント『七夕交流会』を、雁宿ホール視聴覚室にて開催しました。今年は、青年会議所国際アカデミーで来日中の、エストニア、マルタ、ジブチなどさまざまな国の人たちを含め、24か国の大外国人54名の参加があり、計176名の来場者がありました。

食べ物は、ちらしずし、お抹茶、ポン菓子や、日本の夏には欠かせない“そうめん”も用意されました。そうめんはなかなかの人気で、残念ながら食べられなかった人も…。また、お琴の演奏や体験に加えて、芸妓の豆香さん(半田市出身)の優雅な踊りに、みんな興味しんしん、熱心に見入っていました。



▲みんなで盆踊り♪



▲水風船



▲日本語教室の皆さん



▲お琴体験



▲縄ひき、何があたるかな



▲芸妓の豆香さん



▲国際アカデミーの皆さん



▲お抹茶体験



▲短冊に願いを込めて



## 6月24日 徐州市公式訪問団来半



半田市と姉妹友好都市である中国徐州市から、市長、副市長をはじめとする公式訪問団8名が来半しました。

半田市長表敬訪問、JFEスチール株式会社知多製造所の見学を終えた後、夜には歓迎会を行いました。和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。



▲徐州市訪問団  
からの記念品



# Midland へ 3人の高校生を派遣

姉妹都市である、アメリカミシガン州ミッドランド市とは、1981年の姉妹都市提携の翌年から、隔年で相互に交換生を派遣しあう交換生派遣事業を行っています。今年は、7月22日～8月13日までの3週間、3名の高校生を派遣しました。

## ★ミッドランド市議会でのスピーチ

7月28日、ミッドランドへの派遣高校生3名と、たまたまミッドランドに出張した私は、ミッドランド市議会でスピーチを行いました。生徒たちは、自分の家族の紹介、趣味、抱負などを語りました。私は、両市の交流関係の歴史、また姉妹都市提携のきっかけとなったダウ・ケミカル衣浦工場の閉鎖後も、両市が交流を継続していくことを約束し、半田国際交流協会としても、その交流を支えていくことをお話ししました。



▲私と3人の生徒



▲ミッドランド市長  
川合里穂さん

Thank you so much for inviting us. I'm now very excited. I have a lot of things to do here in Midland. First of all, I would like to make long lasting friendship.



間瀬敬太郎くん▶

I belong to Kyudo club, which is Japanese archery. A bow tension is very strong for me. It's about 11kg. It's difficult, but I practice Kyudo every day.



▲松本英李さん

I wrote my name with Shodo. Shodo is one of the most famous Japanese cultures. Please look at this. Kei means Respect and Taro means the Eldest son. Taro always appears in old Japanese tales.

## ホームステイの感想 (一部抜粋)

間瀬敬太郎(南山高校1年)

僕は、今回のミッドランドへの派遣生として、たくさんの思い出を作り、自分を成長させることができたと思います。この経験は人生の大きな財産となった気がします。アメリカにますます興味が湧きました。食べ物は美味しい、生活スタイルも気に入りました。高校、大学の見学をして、このような環境で学びたいと思いました。

3週間を振り返ると、はじめの頃は日本や半田市について話したいけど、うまく伝わらなかったり、おしゃべりが続かなかったりしました。話に参加できず一人でいることもよくありました。しかし相手に英語で思いを伝えることができた時の喜びは、普段味わうことができない感動でした。



▲観光名所のトリッジ

川合里穂(半田高校2年)

私は2つのことを学びました。「自分の考えを伝えるための強い意志」と「笑顔の大切さ」です。

完璧に言えなくても、まずは伝えようとすることが大切だと気付き、失敗におびえるのではなく、単語を並べるだけでもいいから、自分の考えを相手にしっかり伝えようという気持ちが身にきました。また、ミッドランドの人々は絶えず笑顔を向けてくれ、とてもゆっくり、我慢強く、私に話しかけてくれました。その笑顔から私はたくさんの元気とパワーをもらいました。次第に不安も薄れていき、私自身も英語を話しながら心の底から笑顔を向けることができるようになりました。



松本英李(半田高校1年)

印象に残っているのは、1泊2日のキャンプです。車の中ではみんなで歌を歌いました。キャンプ場ではまず、テントを張るところから始まりました。ホストファザーによると、ミッドランドではこうしたアウトドアを趣味にしている人は多いそうです。

みんなが自然を大切に思っているんだ、と聞き、半田とは違って緑が豊かなのは単に田舎だからとかそういうことではなく、モラルが高いからなのではないか、と自分の生活や環境について考えさせられました。



## 「国際アカデミー in 半田」 ご協力ありがとうございました

国際理解・交流推進委員会委員長 鈴木雅貴

7月4日～11日までの8日間、JCIメンバーである世界70か国の人と日本人約70人が集まり、リーダーシップと世界平和についての研修を半田青年会議所が行いました。

ホストファミリーや通訳ボランティアの方々のご協力のもと、半田という町の魅力を伝えることができ、また、この地域の人たちに外国人との触れ合う機会が提供でき、少しでも意識変革を起こせたのでは、と考えております。

参加された方々からは、ホームステイが楽しかった、通訳ボランティアとして参加してセミナーから多くのことを学んだ、この事業がきっかけで小学校での講師として英語を教える機会をいただいた、などの声をいただきました。ご協力ありがとうございました。



協会からもホストファミリーの  
協力をしました



▲台湾人のお姉さんは  
ひつまぶしがお気に入り



▲カリブ海からやさしい  
お兄さんが来ました

## 沖縄市国際交流協会 来半



7月30日、沖縄市より沖縄市国際交流協会会长、副会長と沖縄市役所観光課の方が来半し、情報交換を行いました。沖縄の協会の方も、市とうまく連携して活動されていました。

他県の協会とのつながりも大切にしていきたいです。

## 協会より日本語学習生に

感謝 状



日本語教室が開催されている日曜日、雁宿ホールにとめられた自転車が、何台もパンクさせられるという事件がありました。日本語教室の生徒も5人被害にあいましたが、ベトナム人生徒のロンビンさんが、常に持ち歩いているという自分の修理道具で、手際良くみんなの自転車を直してくれました。暑い中、一生懸命修理してくれたロンビンさんに、協会から感謝状を贈りました。

このような残念な事件が二度と起こらないことを祈ります。

## 中学生の職場体験

山本さん(右)と  
榎原さん(左) ▶



▲協会に来ていた中国人の女の子とも  
友達になりました



8月3～5日、半田中学校2年生の2名が当協会で「職場体験」をしました。

「日本語教室では、みんなとてもよい雰囲気で勉強していました。私もボランティアの人たちみたいに、思いやりがある人になりたいと思いました」(山本清音さん)、「少しでも日本語ができる外国人がすごい！と思いました。大人になつたら、違う国の言葉を書いたり話したりできるようになります」(榎原寧々さん)。

ここでの経験を生かし、2人が世界への関心を深めていってくれることを期待しています。

## ★ 私の国際交流 ★

私は中学生の時、半田市のスポーツ交流事業で姉妹都市の中国徐州市へ行き、私と同じ年頃で日本語を勉強する中国人の女の子と知り合いました。それから私たちは2か月に1回ほど日本語で手紙のやり取りをしていましたが、彼女はだんだん英語で手紙を書くようになり、当時英語はテストのためにあると思っていた私は、返事を出すのが面倒になってしまいました。久しぶりにやっとの思いで彼女に書いた英語の手紙は、住所が変わったためか、戻ってきてしまいました。

その後彼女からの連絡もなく、私も思い出すことはありませんでしたが、最近になりふと「今、何してるのかな～？」と思い、インターネットの検索ページで彼女の名前、出身を入れて検索してみると、一人の大学助教授が見つかりました。そこにある連絡先に恐る恐る「私は昔、あなたと同じ出身、同じ名前の人と手紙をやり取りしていましたが、あなたではありませんか？」と連絡をしてみると、なんとYESの答えが！10数年ぶりにメール上の再会、とてもうれしかったです。今また手紙のやり取りを再開し、いつの日か、本当に再会できる日を楽しみにしながら私の国際交流を続けていきたいと考えています。（会員 T.K）



1994年8月撮影



▲世界遺産カッパドキア



朝陽と共に気球は高度を上げていきます。  
自分の乗っている無防備な“かご”と眼下の絶景がアンバランスで、まるでCGを見ているみたいでした。



▲トルコで出会ったカップル



▲イスタンブルのショップのお姉さん



## 文明の発祥地 トルコを旅して

昨年、「トルココーヒーの文化と伝統」が「和食」とともにユネスコの世界無形文化遺産に登録されたというニュースを見ました。いわゆる「カフェ」文化は、トルコ発祥だということです。古くから「東西文明の十字路」として栄えたトルコには面白い文化があるはず、そんな期待を胸に今回トルコを旅してきました。

トルコは、国民の99%がイスラム教徒ですが、イスラム圏では珍しい政教分離国家です。スカーフとロングコートで身を隠した女性もいれば、欧米ファッションの人もいて、開放的な雰囲気がありました。また、トルコ料理ですが、食料自給率100%を誇る豊かな食材と多様な調理方法に、「世界三大料理にランクインしているのは、何かの間違いでは…」という私の長年の疑念も晴れました。特に、ヨーグルトが、クリーム状・ソース状の調味料として、また、スープや、塩味の飲料として使われていたのが新鮮でした。

ヨーグルトと言えば、これもトルコ発祥です。他にも、ピザ、チューリップ、サンタクロースなど、真っ先に違う国が浮かぶものが、実はトルコから生まれていることを知りました。紀元前から、さまざまな民族と文明が栄えてきた地であることを、深く感じる旅でした。（会員 N.I）

▲塩味のヨーグルト飲料  
「アイラン」水餃子にヨーグルトが  
かかった料理「マントゥ」

## 半田国際交流協会にご入会ください！

## 会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
法人会員(1口 5,000円)		
・従業員数 1名～29名	1口以上	
・従業員数 30名～49名	2口以上	
・従業員数 50名～	4口以上	

申込先：半田国際交流協会（雁宿ホール内1階）  
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992  
E-mail:hia@poplar.ocn.ne.jp  
HP:<http://www.handakokusai.aichi.jp>



■11月30日（日）

こんにちわ～るどフェスティバル

時間 10:00～15:00 場所 雁宿ホール講堂

テーマはワールドカフェ＆カルチャー  
みんな遊びに来てね！